

ごみ減量に向けて

～ごみ減量化の効果的な手法～



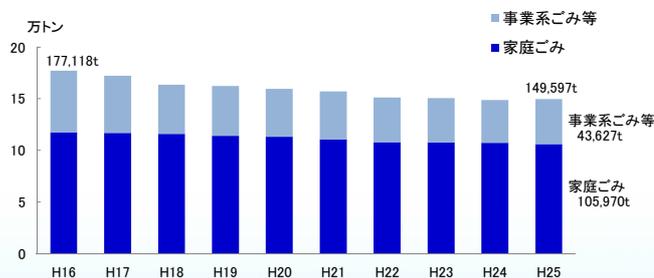
環境部 環境政策課



1

ごみ量の推移

- ごみ量は「減少傾向」にあります。
- 事業系ごみに比べ、家庭ごみはあまり減っていません。



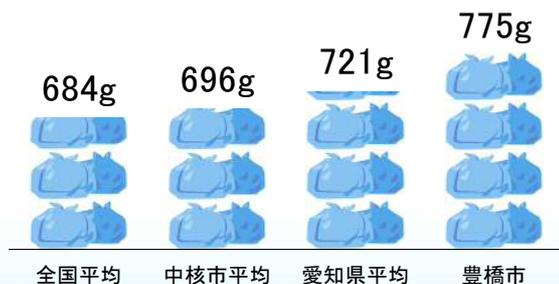
15万トンのごみを25メートルのプールに例えると、約1,900杯分に相当します。家庭ごみの中で最も多いのは「もやすごみ」で約7万5千トン。豊橋市のごみ全体の半分を占めています。



2

全国・県内と比べると

○市民1人1日当たりごみ量は、とても多い状況です。



豊橋市の市民1人が1日に出す家庭ごみの量は、愛知県の平均と比べると約50グラム、全国の平均と比べると約90グラム多くなっています。

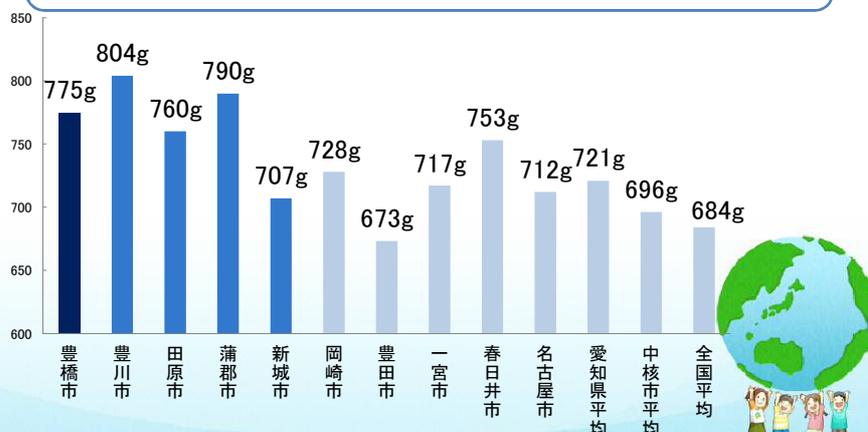
豊橋市の775グラムは、ダイコン一本分の重さに相当します。



3

東三河・県内と比べると

- 東三河は、全体的にごみ量が多い状況です。
- 豊橋市は、東三河では真ん中(3位)です。



4

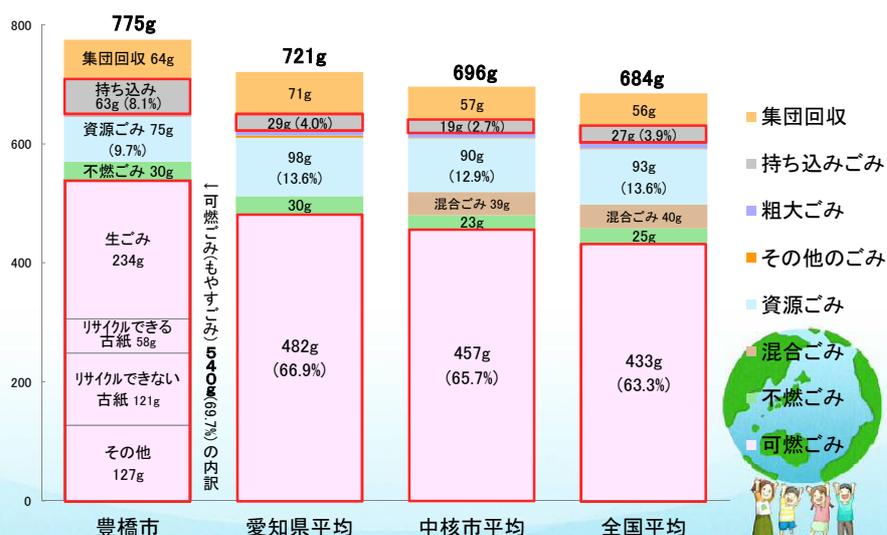
ごみのリサイクル率の推移と比較

- 県平均・全国平均より低い状況です。
- 県・全国より、上昇傾向が強く、改善が見られます。



5

なぜ豊橋のごみは多いのか？



なぜ豊橋のごみは多いのか？

- 「豊橋はごみが少ない」という誤解
- 指定袋がなく、ごみを出しやすい
- ごみ処理施設へのごみの持ち込みが無料・制限もなし
- 事業系ごみの混入



ごみの処理費用

1年間で、総額49億円(平成24年度)



市民負担では？

市民1人当たり 13,000円

1袋(約5kg)のごみ処理に必要なお金



=

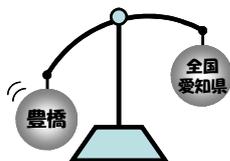


約150円



豊橋市は、こんなことで困ってます…

○家庭ごみがなかなか減りません



ごみ排出量の中でも多くを占める家庭ごみ、特に「もやすごみ」の減量が思うように進んでいません。

豊橋市の家庭ごみの量は、全国や愛知県の平均より多い状態が続いています。ごみの処理は、環境に大きな影響を与え、たくさんのお金を必要とします。

みどり豊かな豊橋を将来に引き継いでいくためにも、ごみについてもっと意識を持ってもらい、ごみ減量に取り組むことが必要です。

○資源化センターが老朽化しています

資源化センターには、3つの焼却炉がありますが、1つは使用開始から20年、残りの2つも10年が経過しており、老朽化が目立っています。

ごみ処理施設の整備には、広い土地と多くの費用を必要とするため、新しい施設を簡単に作ることはできません。



○ごみを埋める場所が少なくなっています



家庭から出る「うめるごみ」や、ごみ処理施設から出る残渣（リサイクルできない残りくず）は、最終処分場で埋立処理されています。最終処分場は、今のペースで埋立てを続けると、近い将来には一杯になってしまいますが、これ以上の用地確保はできない状況です。

ごみ減量に向けた取組み

これまでの取組み

- レジ袋の有料化
- 資源の持ち去り禁止
- 剪定枝のリサイクル
- 小型家電のリサイクル
- ごみの現状のPR



取組みの成果

- レジ袋有料化**
辞退率**76.5%**(目標の**80%**に届かず…)
- 資源の持ち去り禁止**
資源量 **161トンUP** (リサイクル率**0.1ポイントUP**)
- 剪定枝リサイクル**
リサイクル率 **1ポイントUP**



取組みの成果

○小型家電リサイクル
回収量 267.5トン

○ごみ現状のPR
広報とよはしでの連載「ゴミのあれこれ」
全戸へチラシ「ごみ減量8カ条」を配布
出前講座・学校訪問授業・幼児環境教育の実施
ごみ処理施設の見学会



ごみ減量・リサイクルに向けて…

これからの取組み

- 生ごみのリサイクル
- 地域資源回収の強化
- 分別方法・収集方法の見直し
- 指定袋制度

最後の手段は…

ごみの有料化



ごみ減量のため

- ごみの現状を伝えます。
- ごみ減量の方法を伝えます。
- ごみ減量のための施策を展開します。

ご清聴ありがとうございました



15